

主催	プログラム	留学先		期間	教育研究活動内容及び成果	法政大学における認定単位数	評価方法
グローバル教育センター	派遣留学	アメリカ イギリス 中国 マレーシア フランス ドイツ オランダ ロシア	サンディエゴ州立大学、ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 シェフィールド大学、ニューカッスル大学、ロンドン大学パークベック、 ブラッドフォード大学、上海外国語大学、中央民族大学、マラヤ大学 サンジェルマン・アン・レー政治学院、ヴェルサイユ大学 バーデン＝ヴュルテンベルク・デュアル大学カールスルーエ プレーメン大学、ウィーン大学、NHLスウェーデン応用科学大学、 サンクトペテルブルク国立大学	4～11ヶ月	2020年度に留学を開始するプログラムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により渡航しての留学は中止となり、オンラインで授業を履修する形での留学となった。 派遣先大学では、専攻分野の科目を中心に専攻分野の幅を広げる関連分野の科目も履修する。オンライン授業は、リアルタイム配信型やオンデマンド配信型のもの、もしくはそのハイブリッド型のものがある。対面式授業と同様に講義形式だけでなく、ゼミ形式の少人数のものやProject Based Learning形式のものを必ず履修し、異なる考え方や背景を持つ現地の学生や他の留学生とのディスカッションや相互学習を重視する。オンライン授業でも、グループワークが授業に組み込まれ、時差と国境を越えて協同学習を行う。 多くの大学では、実務経験のある講師が授業を担当しており、地域企業と共同で行う授業など日本では経験することが難しい社会と繋がった学びにより、培った知識を知恵に変えることを目指す。その中で、派遣学生は実践的に語学を使用する機会が得られ、語学力だけでなく本質的なコミュニケーション能力を身に付けることができる。 また、自身の専攻分野の知識を深めるだけでなく、広く多角的・学際的な知識を身に付け、異文化間の考え方の違いを乗り越える理解力と相手に自身の考えを伝えるコミュニケーション能力を養う。 事前に学習計画を国際交流課スタッフと所属学部教員で確認し、現地での履修が本学での学びをさらに飛躍させる内容か、学生の将来のキャリアに繋がる内容かを確認する。留学終了後には派遣留学生全員と個別面談を行うほか、毎月の報告書の提出を義務付けることで、学生の内面の成果も把握する。	最大30～60単位 各学生の学生状況による。	現地機関より成績証明書が発行された。
グローバル教育センター	短期語学研修	アメリカ	ポートルランド州立大学	3週間	2020年度に留学を開始するプログラムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により渡航しての留学は中止となり、オンラインで授業を履修する形での留学となった。 sustainability goalをテーマに英語を学び、コミュニケーションスキル、批判的思考などを習得した。現地学生とのカンパセーションセッションも毎日行われ、実践的な学びとなった。 また、帰国後には報告書及びアンケート作成を通じて研修での学びの振り返りを行った。	所属学部に応じ、1～2単位	現地機関より成績証明書が発行された。
キャリアデザイン学部	キャリア体験学習(国際)	台湾	元智大学	10ヶ月	2020年度に留学を開始するプログラムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により渡航しての留学は中止となり、オンラインで授業を履修する形での留学となった。 春学期に日本で現地研修を行う上で必要な知識や言語などについて学習した上で、夏休みの2週間、現地にて、現地企業での研修や派遣先大学の学生との交流などを行い、秋学期には、現地で学んだことを授業内で共有し振り返りを行う。 2020年度は、派遣先大学学生との交流や現地企業へのインタビューを、オンラインで実施した。オンラインによる現地の大学生や現地企業とのコミュニケーションを通して、台湾の歴史や文化、台湾と日本とのかわりなどについて学習した。 秋学期には、台北駐日経済文化代表処や台湾文化センターなど国内の台湾に関連した機関・施設を訪問し、異文化に直接触れ国際性を身に付けた。	2単位×2=4単位	担当教員が、当該プログラムへの参加姿勢及び春学期に行う事前指導と秋学期に行う事後指導における課題への取り組み等を通して、評価をする。

※本学では、1単位の授業時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。